

小学部第*学年 生活単元学習指導案

日時	令和4年**月**日（*）		場所	小学部*年*組
指導者	岸田 美羽（T1）、** **（T2）、** **（T3）			
単元名	きょうしつ ぴかぴか だいさくせん！			
単元設定の理由	本グループは、小学部*年生の男子5名、女子2名の計7名で構成されている。学習面においては、教師からの簡単な指示や、写真やイラストなどの視覚的な情報をもとに活動に取り組むことができる児童がいる一方で、活動への集中が途切れて離席したり、普段と異なることに対して不安を感じて大声を出したりする児童がいるなど、実態は様々である。掃除に関しては、「そうじ」の時間に毎日雑巾がけに取り組んでいるが、前を見ないで雑巾がけをするため、蛇行したり、端までいかずに途中で折り返したりすることがある。また、ほうきの使い方に関しては、ほとんどの児童がほうきを使用した経験がなく、ほうきを掃除機のように前後に動かして使用するなど、基本的な掃除の仕方について課題が見られる。 そこで、本単元では、特別支援学校小学部学習指導要領に示された生活科1段階の内容「手伝い・仕事」から、身辺自立の一つである「掃除」について取り上げ、身の回りの清潔を保とうとする意識を育んでいく。算数科1段階の内容D（ア）より、身の回りの汚れている部分や掃除の成果を数量の違いで視覚的に分かりやすく体感すること、また、国語科1段階の内容Aiより、掃除の動きのイメージを児童にとって分かりやすい言葉で伝えることを併せて指導していくことで、掃除をして身の回りを清潔にすることに対する具体的なイメージをもてるようにしていきたい。さらに、自立活動1健康の保持（1）として、身の回りの清潔を保つことが健康な生活につながっていくことを知り、掃除によってきれいな環境を保つことの気持ちよさを実感できるようにしていきたい。 指導に当たっては、小学部*年生の段階として、掃除中の安全に留意していくことが重要であると考え、掃除中の危ない場面を動画などで視覚的に分かりやすく示すことで、安全に掃除をすることの大切さに気付くことができるようにする。また、電子黒板を使用して、児童自身が黒板に書き込んだり、自分たちが選んだ答えをタッチしてクイズを展開したりすることで、授業に参加していることを実感できるようにする。タブレット端末を併用し、自分や友達が活動している姿を画面に映し、客観的な評価につながる場を設定することで、できたことへの達成感を高めることができるようにしていく。授業で学習した掃除のポイントを、日常の掃除の時間にも繰り返し実践することで、簡単な掃除を習慣化できるようにしていきたい。			
単元の目標	○掃除用具の使い方を知ることができる。（知識及び技能） ○掃除用具を使って、簡単な掃除をすることができる。（思考力、判断力、表現力等） ○安全な掃除の仕方を身に付け、日常の掃除に生かそうとする。（学びに向かう力、人間性等）			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	- 掃除用具の名称がわかる。 - 掃除用具の基本的な使い方がわかる。	- 身の回りのごみをごみ箱に捨てている。 - 掃除のポイントを意識しながら掃除をしている。	- 安全に気を付けて掃除をしようとしている。 - 掃除の技能を日常生活に生かそうとしている。	

単元における児童の実態及び個別目標（抽出2名）		単元における児童の実態		単元における個別目標		自立活動の目標
	A	・床に目印をつけることで、目に入る範囲にある大きな模擬ごみを一箇所に集めることができる。 ・言葉かけによって前方を意識して雑巾がけをすることができる。 ・言葉かけによって落ちているごみに気付き、ごみ箱に捨てることができる。		・ほうきの基本的な使い方について知ることができる。 (知識及び技能) ・教室の隅のごみを集めることができる。(思考力、判断力、表現力等) ・掃除中の危ない場面を知り、安全に注意しながら掃除に取り組もうとする。 (学びに向かう力、人間性等)		
	B	・ほうきを掃除機のように動かしてごみを移動することができる。 ・途中で折り返してしまうことが多いが、人にぶつからないように気を付けながら慎重に雑巾がけをすることができる。 ・言葉かけによって、落ちているごみをごみ箱に捨てることができる。		・ほうきの基本的な使い方について知ることができる。 (知識及び技能) ・ほうきを使って、大きなごみを目印の場所に集めることができる。(思考力、判断力、表現力等) ・掃除のポイントを意識しながら掃除しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)		
単元の指導計画と評価（8時間扱い） 本時は第7時	次・小単元名	時	学習内容・活動		評価規準・評価方法	関連教科等
	1 「掃除の大切さをしよう」	1	「さくせん① ばいきんをみつけよう！」 ・身の回りの汚れている（ばいきんが多い）場所を見つける。		・身の回りの汚れている場所に気付き、教師や友達に言葉や身振りで伝えている。（思考・判断・表現）〔観察〕	国語 算数 自立活動
		2	「さくせん② このごみどうする？」 ・ごみをそのままにする（掃除をしない）とどうなるか考える。		・掃除をする大切さに気付き、ごみを捨てている。 (思考・判断・表現)〔観察〕	
		3	「さくせん③ どうぐのなまえをしよう！」 ・クイズを通して掃除用具の名称や使い方について知る。		・掃除用具の使い方をワークシートに記入している。 (思考・判断・表現)〔ワークシート〕	
	2 「掃除のやり方をしよう」	4	「さくせん④ ぞうきんでびかびか！」 ・普段の雑巾がけの動画を見て、危ない点や雑巾がけのポイントについて考える。 ・ポイントを意識しながら、雑巾がけをする。		・端までまっすぐに雑巾がけをしている。 (知識・技能)〔観察〕	国語 算数 自立活動
		5	「さくせん⑤ ほうきでびかびか！」 ・ほうきの使い方を知り、模擬ごみを集める。		・ほうきを使ってごみを集めている。 (知識・技能)〔観察〕	
	3 「教室をきれいにしよう」	6・⑦ (本時)	「きょうしつ びかびか だいさくせん！」 ・クイズを通して基本的な掃除の仕方について確認する。 ・任された場所の簡単な掃除をする。		・手本をヒントにしながら、丁寧に掃除をしている。 (思考・判断・表現)〔観察〕	国語 算数 自立活動
		8	「そうじ、はなまる！」 ・授業で使用したスライドや自分が掃除をしている動画、写真などを見て学習を振り返る。		・掃除の仕方が分かり、これからの生活に生かそうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)〔観察〕〔ワークシート〕	

〔本時の指導〕

1 目標

(1) 全体目標

○教室内の簡単な掃除をすることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 個別目標

A 教室の隅にある模擬ごみに気付き、ほうきを使って一箇所に集めることができる。

B 教師の手本や動画をヒントにしながら、ほうきを使って模擬ごみを集めることができる。

2 展開

※形態の表記は 全体：全、グループ：グ、個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て（各Tの役割等）※評価は□で囲む
全 (1分)	1 はじめのあいさつをする。	・簡単な体操を取り入れたり、「せなかほピン」などの合い言葉を確認したりすることで、よい姿勢であいさつをし、落ち着いた気持ちで授業を始めることができるようにする。
全 (3分)	2 本時のめあてや学習内容を知る。 【めあて】 みんなできょうしつを ぴかぴかにしよう！	・スライドで本時の学習の流れを一つずつ確認することと併せて、ホワイトボードにも授業の流れを提示することで、見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。 ・T2、T3は、T1の発言を繰り返したり、「前を向きましょう」などの言葉かけをしたりすることで、児童がT1と電子黒板に注目できるようにする。 ・T2はB、T3はDが不安定なときには、場所を移動し、落ち着くまでそばで見守ることで、落ち着いて学習に参加できるようにする。 ・前時までの学習を動画や写真を用いて振り返ることで、本時の活動のポイントを確認できるようにする。
全 (10分)	3 掃除のポイントを確認する。	・前時までに使用したスライドを用いて、ルールの確認やクイズを行うことで、学習内容を定着できるようにする。 ・掃除中の危ない場面への理解を進めるために、危ないシーンでは教師が率先して「危ない」「大変」などと声を出していくことで、児童のリアクションを引き出すことができるようにする。 ・「ごみは」「ごみ箱」「ぞうきんがけは」「まえをみる」などのやりとりを繰り返し声に出したり、正しいイラストや写真を指さしたりすることで、掃除のポイントを定着することができるようにする。
グ全 (20分)	4 教室の掃除をする。 (A、Bはほうきグループ)	・電子黒板を用いて、教室にいたばい菌のイラストなどに児童が丸を書きこむよう促したり、選んだ答えをタッチしてクイズを展開したりすることで、進んで授業に参加できるようにする。 ・ごみ拾い、ほうき、雑巾がけの中から、児童が得意なものを自分の役割とすることで、友達と協力して掃除をする実感をもつことができるようにする。 ・「お助けマン」として、友達の役割の手伝いをする場面を設定することで、児童同士がかかわり合うことができるようにする。 ・汚れがたまりやすい場所（教室の角、隅、机の下）には「ばい菌マーク」を、教室の真ん中にはごみを集める場所のマークを付けることで、端から真ん中へ、というほうきの動きを視覚的に分かりやすくする。

グ (7分) 全 (4分)	5 振り返りをする。 (1) 本時の活動を振り返る。 (2) 自分の頑張っている写真を選び、全体に共有する。 6 終わりのあいさつをする。	・ Aには「ばい菌マークの場所を確認しましょう」「あとはどこにごみがありますか」などと言葉かけをすることで、教室の隅までほうきを動かす意識をもつことができるようにする。 ・ Bには、隣で手本を見せたり、「緑の四角」「集まれ集まれ」と合言葉を伝えたりすることで、ほうきを使ってごみを集めることができるようにする。 ・ Bには、ごみを集めている際に「集まってきましたね」「もう少しですね」などの励ましの言葉をかけることで、最後まで集中してほうきに取り組むことができるようにする。 A：教室の隅にある模擬ごみに気づき、ほうきを使って一箇所に集めている。(思考・判断・表現)〔観察〕 B：教師の手本や動画をヒントにしながら、ほうきを使って模擬ごみを集めている。(思考・判断・表現)〔観察〕 ・ Aには、ばい菌マークの上にあったごみを集めることができた時に、「教室の隅まできれいになりましたね」とできた行動を称賛する。 ・ Bには、ほうきを使ってごみを集めたり、緑の四角に入れることができた時には、「ほうきでごみを集めることができましたね」とジェスチャーを交えながら称賛する。 ・ 掃除前と掃除後の写真を比較しながら示すことで、視覚的にもきれいになった実感をもつことができるようにする。 ・ 自分たちが掃除をしている写真や動画を用いて、ごみ拾い、ほうき、雑巾がけのグループごとに掃除のポイントを確認することで、自分の掃除の様子を確認することができるようにする。 ・ 写真や動画を見ながらできているところを称賛することで、自分の頑張りがよかった点に気付くことができるようにする。 ・ 活動中の写真の中から、頑張っている様子が分かる写真を選び、みんなの前で発表する場を設定することで、頑張った実感を得ることができるようにする。 ・ 言葉での発表が難しい児童は頑張ったことを動作で表現したり、写真を指さしたりするよう促すことで、自分なりの発表ができるようにする。 ・ 発表した児童には、ホワイトボードに貼ってある顔カードの近くに花丸カードを貼って称賛することで、達成感を味わうことができるようにする。 写真や教師の手本を参考にしながら、教室内の簡単な掃除をしている。(思考・判断・表現)
---	--	---

【板書計画】（コミュニケーションボード）

せいかつ

きょうしつ ぴかぴか だいさくせん！

めあて

みんな で きょうしつ を ぴかぴか に しよう！

きょうのがくしゅう

①そうじのぼいんと

②きょうしつ ぴかぴか だいさくせん！

③ふりかえり

ごみひろい

ほうき

ぞうきん



個別目標



個別目標



個別目標



個別目標



個別目標

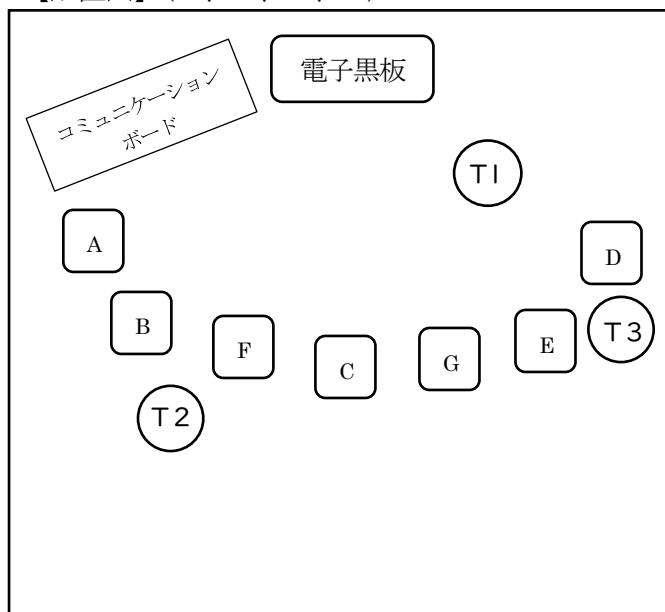


個別目標



個別目標

【配置図】（1、2、3、5）



（4）

